

目標達成計画

作成日: 令和 4年 3月 25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	コロナ禍で本人がこれまで大事にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れつつある。	馴染みの人との交流機会や馴染みの場所への外出機会を作る。	誕生日など記念日、その季節のタイミングで必要時ご家族の協力も得ながら計画を立て実施する。	12ヶ月
2	35	・災害時に備えた地域との協力体制を築く ・災害時の備蓄の日頃からの管理	・災害時、日頃の緊急時に近隣住民から協力を得られるような関係の構築。 ・過剰在庫とならないようローリングストックにて緊急時に備える	・日頃からの近隣住民との挨拶の徹底 ・ローリングストックになにがあるか意見を出し合い備蓄を行う	即時 12カ月
3	33	重度化した場合や終末期のあり方を、本人やご家族と話し合い、事業所でできる事、方針を共有し関係者と共にチームで支援に取り組む。	重度化する前に本人やご家族からの意向を再度確認し、事業所を主としたチーム作りをし関係者とともに支援に取り組む。	昨年度はお一人の看取りを行ったが振り返るような機会がなかったため、社内勉強会などで看取りについてのアクアでの看取り方針を職員間で共有しその時に備える。	12ヶ月
4	34	入所者様の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の対応ができる。	緊急時マニュアルを各自確認し、また救急時に備えて自社に設置してあるAEDを全ての職員が使用できるよう社内研修を行う。	急変時の対応や夜間帯での連絡の手順を毎日の申送り、勉強会等で定期的に確認しAEDの使用方法は外部指導員に依頼し社内研修にて職員全員に周知する。	12ヶ月
5	54	居心地の良いと感じることのできる居室作り。また使い慣れたものや好みのものを活かして本人が居心地よく過ごせるような工夫をする。	1人でも多くのその方らしい居室作りを職員間で話し合い、またご家族にも協力を募り居心地よい空間作りをする。	本人の好みを本人、ご家族より聞き取りを行う。職員間で話し合い、嗜好など把握しその方らしい居室作りをお一人ずつ行っていく。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。